



か ん ご

# れんめい大分

平成24年1月15日発行

第48号

大分県看護連盟メールアドレス

E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒 310 番地の 4 大分県看護研修会館  
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリンツ

TEL 097-574-7088

TEL 097-568-8123



## 後藤姫だるま工房

姫だるまは、360年ほど前に実在した綾女〔あやじょ〕という武家の女性をモデルにした民芸品。家庭円満や厄よけなどの御利益があるといわれ、この工房で作られる姫だるまはすべて手作りです。

「姫だるま」

二科会写真部 大分支部：野中正敏 氏

明けましておめでとうございます  
本年もよろしく願いたします。



高階議員にお渡しした“祝当選”の姫だるま  
今、たかがい事務所でたかがい先生をお守りしています。

## もくじ



明けましておめでとうございます ~ごあいさつ~	2 P
各地区支部幹事長より新年のご挨拶	4 P
男性看護師研修会／看護管理者研修会	6 P
県・支部別会議／県別リーダーセミナー	7 P
若手会員委員会	8 P
「ポリナビワークショップin熊本」に参加して	8 P
あべ俊子衆議院議員拡大大活動報告	9 P
参議院議員 たかがい恵美子先生活動報告	9 P

平成23年度  
大分県看護連盟  
会員数  
連盟会員 / 3,371名  
賛助会員 / 62名



大分県看護連盟会長  
安東 和代

東日本大震災が起きた決して忘れることのできない年が改まりました。  
被災された地域の日も早い復興を祈念いたしますとともに、今年こそは、災害のない良い年になりますようお願いしております。

日頃より看護連盟活動にご協力・ご支援いただき、深く感謝申し上げます。  
今回の震災で、看護職自ら被災しながらも、医療現場で昼夜を分かたず必死に患者さんを守り抜いた仲間がいました。また、日本看護協会が素早く対応した災害支援ナースの活躍が、看護という専門職の底力を社会に示し、高い評価を得ました。

これからも看護職の力を社会に発揮し、いきいきと働き続けるために、働く環境（給与、人員、長時間勤務、教育等）を整えていかねばなりません。  
働く環境を整え、私たちの“いい看護をしたい”という思いを実現するためには、政治の場に看護職の代表を送り、看護政策を実現させることが必要です。  
そのために看護職の力を一つにして、組織の強化をしなければなりません。  
組織の力は会員の数で左右されます。会員増へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。  
本年もよろしくお願いいたします。



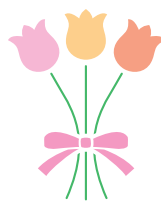
日本看護連盟会長  
清水嘉与子

明けましておめでとうございます。  
昨年の東日本大震災は被災地のみならず、日本中に衝撃を与えました。命がけで患者さんを護った被災地の看護師たち、そして全国に広がった支援の輪、素晴しかったですね。  
こんな国の一大事の中で政権交代後3人目の総理大臣が誕生しましたが、大震災・放射能被害からの復興、沖縄基地問題、TPP 問題など野田内閣の目の前には課題山積です。まずは総理にはしっかりとリーダーシップを発揮していただきましょう。  
政治情勢が不安定な中でも高齢化はどんどん進んでいます。世界一の長寿国であることをみんなが実感できるようにするためにも、看護職が働き続けられる環境を整え、その能力を医療機関の中だけでなく在宅においてもしっかりと活用しなければなりません。そのためにも日本看護連盟は次期参議院選挙に看護の代表を送る活動を進めて参ります。  
皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

## お知らせ

**平成24年度  
日本看護連盟 通常総会**

と き：平成**24**年**6**月**15**日(金)  
ところ：東京プリンスホテル



**平成24年度  
大分県看護連盟 通常総会**

と き：平成**24**年**7**月**8**日(日)  
ところ：大分県看護研修会館 大研修室



参議院議員

## 高階 恵美子

大分県看護連盟の皆様、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

いつも変わらぬ皆様方のご尽力に対し、改めて衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、東日本大震災をはじめ、豪雨による被害など甚大な災害に見舞われた年となりました。これらの災害は、多くの悲しみや苦難をもたらしましたが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこそ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思います。

どのように政局が不安定な状況にあろうとも、国民の生活は安定したものでなければなりません。今年は、診療報酬・介護報酬の見直し、社会保障と税の一体改革など社会保障制度に関して大きく動く年です。社会保障の担い手として、看護職の皆様が生き活きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動してまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員

## あべ 俊子

大分県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。

いつも温かいご支援を賜り、さらに昨秋のあべ俊子後援会の拡大活動にもご協力をいただき、本当にありがとうございました。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩んでいけるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

また昨年は国会では、厚生労働をはじめとした4つの委員会に身を置いて活動いたしました。所属以外の様々な委員会でも質問の機会を多く頂けたことから、会期中は地元岡山との往来も含めて毎週多忙を極めました。この国政活動が国民の皆さんの幸せや看護職の皆さんの現場が良い方に変ったという実感につながっていくことを常に願い、日々取り組んでまいりました。そして今年も変わらず頑張っている所存です。どうか本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



大分県看護協会会長

## 松原 啓子

新年明けましておめでとうございます。

連盟会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は自然災害の多発する苦難の1年でした。3月11日の東日本大震災をはじめ水害等の自然災害の被災者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

大分県看護協会も毎年災害に備え、災害訓練や対策を講じ、備えはしてはしておりましたが、今回のような大災害までは想定していませんでした。今年度はこの教訓を礎とし、災害対策を万全にしたいと考えています。大分県看護協会にとっても大事業である看護研修会館の建設・移転も無事終了し、協会事業も計画通りに進んでいます。

もう一つ重要な事業である公益法人への移行申請ですが、4月の認可を目標に取り組んでいます。

新年度はさらに事業活動を拡大・充実させ、さらに飛躍できるように尽力したいと思います。



# 各地区支部幹事長より新年のご挨拶

## 国東・杵築・日出地区支部

あけましておめでとうございます。  
 国東市民病院を退職して、10年の月日が経ちました。退職したとき協会も連盟もやめられる「やったあ!」と思いましたが、それはとんでもない間違いであったと気付きました。看護協会が目指す目標に向かって連盟では多くの諸姉が活動しています。今、私は介護現場で現役をしています。看護で歩いてきた人生重宝です。これからも誇りを持って微力を注ぎます。皆さんどうぞ宜しくお願いします。

幹事長  
小川 キミヨ



## 別府地区支部

会員の皆様新年あけましておめでとうございます。  
 看護職の方々は、年末年始勤務された方も多数おられる事と存じます。心から感謝申し上げます。昨年は、未曾有の東日本大震災がありました。今、私たちに何ができるのか深く考える年となりました。だからこそ看護職として充実した組織を作り国会へ信頼できる看護職を送り出し私たちの声を届けていただくのが、重要であると思います。  
 会員の皆様今年も熱いパワーで頑張りましょう。

幹事長  
宮崎 加代



## 大分北部地区支部

新年おめでとうございます。  
 龍は、上昇する運気を呼ぶと言われています。北部地区の幹事長として看護連盟活動に参加させて頂くことになりました。  
 看護現場の声を政治に!「熱伝導」の輪が大きく広がって行きますように、皆様と共に頑張りしたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

幹事長  
広瀬 春枝



## 大分北部第2地区支部

謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
 日本看護協会は「働き続けられる職場づくり」を展開しています。看護連盟もこれを支援し国政の場に、「声」を届けるため議員を送り出さなければなりません。この看護連盟の熱い思いをまず支部長とともに私も受け取りました。これから支部内でこの熱い思いを一人一人の会員に伝えていく作業をして行かなければなりません。この一年のこの熱を冷まさず熱が伝わりやすい少人数至近距離での集会を積み重ねて行きたいと思っています。

幹事長  
佐藤 嘉代子



## 大分南部地区支部

明けましておめでとうございます。  
 大分南部地区支部幹事長として4年目になります。この活動の中で多くの方々に出会い、学び、連盟活動の重要性について改めて再認識させられました。今年は、各施設幹事との連携を深めながら選挙に向けての雰囲気作りをして行こうと目標を挙げました。また、毎月の施設訪問を楽しんで行こうと支部長と話しています。よろしくお願ひ致します。

幹事長  
江藤 真弓



## 大分南部第2地区支部

あけましておめでとうございます。  
 高階選挙の快挙で安堵した一年を過ごすことが出来ました。より良い看護が行える為には、より良い看護政策が必要です。その実現に向け、ベッドサイドの声が国政に届くよう協力します。政治力は選挙で決まると言われます。親密な仲間を多くつくり絆を深め得票に結びつけようと思っています。候補者が決まりましたら、全力投球しましょう。若返りの一助になるかな?と思い頑張ります。よろしくお願ひします。

幹事長  
畔津 孝子



# 各地区支部幹事長より新年のご挨拶

## 竹田・豊後大野地区支部

新年あけましておめでとうございます。

前玉田幹事長の後任として幹事長を仰せつかりました。初めてのことで不安ですが、とてもパワフルな加峰支部長のもと心強く思っています。次回参議院選に向けて支部役員の増加や病棟連絡員の配置など体制を強化する予定です。会員と役員一丸となって取り組みたいと思います。

皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げます。

幹事長  
木部 眞里子



## 豊後高田・宇佐・中津地区支部

新年あけましておめでとうございます。

私は、支部幹事長としての活動が6年過ぎ2回の選挙を経験することができました。

活気みなぎる職場、働きやすい職場、長く働き続けられる職場にするためには、政治で変えていかなければとつくづく思いました。その政治の為に私達の代表をまた送り出す活動をもう一度できることを嬉しく思います。支部の方々とコミュニケーションをとり、看護の代表のため、連盟活動を頑張りたいと思います。

幹事長  
円福 重美



## 玖珠・日田地区支部

新年あけましておめでとうございます。

私は、昨年より玖珠・日田地区支部の幹事長として連盟活動に参加しています。

若手会員と昨年発足した病棟連絡員を中心に国政に私たちの仲間を送るために、連盟活動の理解や票獲得へ向けて取り組んでいます。

地道な活動ですが、1歩1歩票獲得へ向け頑張っていきますので皆様の協力をどうぞよろしくお願いいたします。

幹事長  
室 広美



## 臼津・佐伯地区支部

新年あけましておめでとうございます。

早くも、来年は第23回参議院選挙イヤーです。地区支部に於いては、今年も支部長を中心に総力を挙げて、組織の強化を図り、会員の皆様一人一人の「熱伝導」で地域の支持拡大に努めましょう。政局は、混沌としており先行き不透明ですが、どのように変化しようと、ぶれることなく看護職の代表を国政に送る一念で頑張ります。

今年も、悲しい出来事のない年でありますよう祈念しております。

幹事長  
工藤 令子



## 由布地区支部

皆さん、初めましてご挨拶申し上げます。

私は由布地区支部の幹事長として主に自分の病院を中心に活動しています。当院の特徴として病棟連絡委員を「れんちゃん」と言うかわいいネーミングで各病棟で選挙に行こう!!を合言葉に地道な活動を続けています。

今年も前回同様、看護職の代表を政界へ送ることを看護部一丸となって取り組む一存です。この活動が由布地区に波紋を広げ手と手をつなぎ合いたいと思っています。

幹事長  
後藤 美恵



## OB会支部

あけましておめでとうございます。2012年がわれわれにとりまして良い年でありますように…!

昨年の早春の東日本大震災はわれわれに多くの示唆を与えてくれました。そして日本国民の偉大さを世界の人々から教えてもらう結果にもなりました。プータン国王ご夫妻来日は原発・震災にあえぐ日本国民にGNPならぬGNH(Gross National Happiness)は何たるかを再考する機会を与えてくれました。何が大切かを考えられる一人ひとりになりましょう!!

幹事長  
橋本 桂子



## 男性看護師研修会

日時：平成23年9月17日(土)  
16:00～17:30

会場：大分県看護研修会館(3F)「大研修室」

### 「男性看護師の本音とやりがい」

日本看護連盟 幹事長 石田昌宏先生

(出席者：74名)



大分県では初めての男性看護職のみの研修でした。  
石田幹事長より、全国では愛媛県の連盟会長が男性で、男性のみの研修会を最初に開催した県であると話されました。

男性にとっても魅力的な職場をつくるために、看護界の課題である

1)人手不足 2)質の問題を解決し、給与や離職防止についても対応していかなければならないとの興味深い話でした。

最後に、看護連盟の役割、看護の考え方、看護職の知恵や役割を地方政治に結びつけることの重要性を話されました。研修会終了後、出席者にアンケートを実施しました。

アンフィニ2012年 新春号の49ページにも大分県の男性看護師研修会の記事が出ています。  
(幹事長 加藤富美子)

## 男性看護師研修会に出席して

講演の中で、今現在、看護職における男性看護職の割合は約5%、看護学校においては約1割を超える男性が学んでいます。これからの課題としては、人手不足であると話されました。人口動態から今から10年後には人口の激減が見られ看護を担う若者の大幅な低下が考えられます。看護師不足の原因としては養成の不足と離職です。女性に対して男性は離職率が低く、今後の看護師不足を解消する鍵であります。中高校生を対象に男性でも看護師になりたいと思うような看護師像をつくるのが重要であり、男性にとっても働きやすい職場改善が必要になってきます。そのためには自身のモチベーションを上げられるように、日々患者との関わりの中で、患者からの感謝の言葉=看護の喜びを糧に男性看護師である誇りを大切にするとともに、課題であるこれからの看護学生の育成、男性看護師が働きやすい職場環境をスタッフで協力して作っていきたいと思います。  
(長門記念病院 宮脇 洋)

『連盟加入の男性看護師はそんなに多くはないはず』とっていました。しかし、予想に反して多数の参加があり、ある種の感動を覚えました。石田幹事長の講義は男性看護師が将来直面する問題を私案という形で披露していただきましたが、これを立法化するためには議席の獲得が必要と述べられていました。そのために連盟の組織強化が必要であり、男性看護師の関わりがもっと必要だと思いました。今後もこの研修に参加したいです。  
(竹田・豊後大野地区支部男性看護師)



## 看護管理者研修会

日時：平成23年9月29日(木)  
14:00～16:00

会場：大分県看護研修会館(2F)「第1研修室」

### 「看護管理の基礎」

日本看護連盟 副会長 大島敏子先生

(出席者：107名)



会長より最近県内の医療機関では看護管理者の世代交代が多くなっている。今回看護管理の基礎を再確認して役立ててほしいと挨拶がありました。大島先生からは、①組織は目的があって作られる ②看護管理者は目的・目標を管理する ③組織は人なり組織文化と組織風土についての講演がありました。看護部の理念の実現にはいつもことばを出して伝える。病院と看護部の理念が合っていること、看護者もネットワークを作る、病院内のいろいろなデータや握れば看護管理がおもしろくなる等実践に基づいた説得力のあるお話でした。

最後には、必ず選挙に行くこと、特に20代～30代が選挙に行く、選挙に行くことで病院がよくなる、社会の仕組みを知ってほしいと話されました。

また、当日出席者にアンケートを実施。アンケートの結果68%の回収率で、最も多い答えは、

1位)給与や各種手当サービス残業等賃金に関すること、2位)看護要員の不足、3位)過重労働 でした。

意見として、

1)時間外勤務も多いが、家に委員会などの業務を持ち帰っている。私費での研修参加もあり、その上自分の休みが少なくなる現状、仕事に押しつぶされない看護を望みます。

2)大変わかりやすい研修でした。パワーをいただいた気がします。参加して良かったと感じています等多くの貴重な意見をいただきました。

(幹事長 加藤富美子)

**平成23年9月26日(月)~27日(火)**  
**県・支部別会議**  
 会場：大分県看護研修会館(3F)「第4研修室」  
 講師：日本看護連盟 幹事長 石田昌宏  
 対象：各支部長・幹事長



**9月26日(月)14:00~17:00**

国東・杵築・日出地区支部  
 別府地区支部  
 臼津・佐伯地区支部  
 豊後高田・宇佐・中津地区支部

**9月27日(火) 9:30~12:30**

大分北部地区支部  
 大分北部第2地区支部  
 大分南部地区支部  
 大分南部第2地区支部

**9月27日(火)13:30~16:00**

玖珠・日田地区支部  
 竹田・豊後大野地区支部  
 由布地区支部  
 OB会支部



**~県・支部別会議報告~**

連盟本部にとって初めての試みの県支部別研修でした。各支部から提出された獲得票に沿って石田幹事長から細かな票の獲得について討議がなされました。全国で25万票の獲得が必要で大分県は4,700票の獲得ノルマが示されました。4,700票を獲得するには、各支部の取り組みをどうおこなえばよいか熱のこもった細かな具体的な指導を受けました。

連盟活動は「熱伝導」にそって活動することの重要性、連盟会員の投票行動、若い会員の投票活動を発揮するためのリーダー、病棟連絡員の育成などについての研修がありました。

連盟活動は、自分の考えをしっかりと持ち、熱意を伝えること、丁寧さの積み重ねが重要等の研修が行われました。(幹事長 加藤富美子)



**平成23年9月28日(水) 10:00~16:30**  
**県別リーダーセミナー**  
 会場：大分県看護研修会館(3F)「大研修室」  
 講師：日本看護連盟 幹事長 石田昌宏  
 対象：各施設の病棟連絡員150名



**~県別リーダーセミナーを修了して~**

初めに会長から「看護連盟の役割について」講演があり、石田幹事長から看護政策の入門について研修が行われました。法律ができるまでの流れや、それに携わっていた前参議院議員の南野先生の活動について説明がありました。そして各支部毎のグループで、現場の看護の現状や問題、悩み等から国に出す要望について話し合い、要望書を作成発表しました。午後からは、リーダーシップや今後の連盟活動について研修がありました。連盟活動は人に行動変容を起こさせるために自分の考えをしっかりと持ち熱意を伝えること、最終的には投票行動に結びつくことが必要であることの研修を受けました。第23回参議院選挙では25万票を集票する強い組織力が必要となる。そのためには、看護連盟のリーダーとしてどう活動したらよいかの議題でグループワークを行い、話し合った結果の発表を行いました。支部毎のグループにしたことで支部の医療機関の顔がわかり、お互いの意思疎通ができたとの声も上がりました。(幹事長 加藤富美子)

**県別リーダーセミナーに参加して**

今回看護連盟リーダーセミナー研修に参加させていただき改めて仕組みや役割を知る機会をもてました。私たちの代表を送っていることがどれだけ職場環境や生活と結びついているかを実感することができました。今日もWeeklyアンフィニが送信されてきました。今回の研修に参加し、いつもよりじっくりと読む自分がいました。数日後に看護科全職員が参加するミーティングがあります。その場で今回の研修「熱」を伝えるつもりです。今の熱意が一過性に終わらず持続するようこれからも務めていきたいと思います。(竹田クリニック 伊東容子)

病院の代表、連絡員として参加しました。まず、大分県看護連盟の安東会長の話を伺い、具体的にすすめられた看護政策の話や、これからの看護連盟の目標等確認できました。みんな「よい看護をしたい」のに、現場の中では働く環境が整っていなかったり、施設間での違いがあったり、同じ国家免許を持つ看護師でありながら、何故こんなことになるのか疑問に感じていた事が理解できました。次の第23回参議院選挙(2013年度)迄には、自院の看護職員の一人一人に看護連盟の役割、看護協会・連盟の全員加入を目標に、病棟会や外来看護課会議、看護総会など折に触れてその必要性を話していきます。また、看護連盟の石田昌宏幹事長の話は、大変刺激を受けました。看護職員にも聞かせたいと思いました。グループワークは地区別で有意義でした。今後も活動するうえで大切な場になると思いました。(みえ記念病院 筑紫幸恵)

**快適な眠りと、上質の安らぎを  
 お届けする  
 東洋羽毛の羽毛布団**



東洋羽毛の商品は国内自社工場で丁寧  
 に仕上げています。ふっくらと温か  
 くて、優しい寝心地。品質の違いを  
 ぜひ実感して下さい。

●アフターサービスもお任せ・安心 クリーニング、リフォーム、修理、下取りなどもご相談下さい。  
**東洋羽毛九州販売(株)熊本営業所**  
 7862-0913 熊本市尾ノ上1丁目7番3号 <フリーコール> **0120-382808**

# 若手会員委員会



## 明けまして おめでとうございます

平成20年の夏に発足し、3年が経過した若手会員委員会のメンバーです。大分県看護連盟の若手の代表として若者の発想、考え、思いを反映させていきます。



若手会員委員会のメンバー

# 日本看護連盟 第3期政治アカデミーに参加して

清水嘉与子会長をはじめ、国会・地方議員や政策研究所代表、大学教授など多くの方から社会情勢と政治、看護政策について学びました。

今、議論されている看護師の役割拡大や働き続けられる労働条件の改善、看護師数確保の対策に向けた法整備が、私たち看護職の発展には重要であると感じました。そのためには看護師一人ひとりがこれらの問題を共通認識として捉え、実現に向けた活動を意識し行動していく必要があると考えました。  
(小川 央)



高階議員を囲んで（高階議員の右側）



小泉進次郎先生の特別講演

「ポリナビワークショップ in 熊本」に参加して  
(日時)平成23年10月31日(月)13:00~16:00  
(会場)ホテル熊本テルサ「テルサホール」

青年部の寸劇あり…



たかがい先生と若手会員の参加者

若い看護職員の多くは、政治は硬い・難しいというイメージがある為に敬遠しがちです。私も政治と看護の結びつきをあまり理解していませんでした。若手委員というきっかけもあり、今回ポリナビに参加し、看護界発展の為に政治との結びつきがとて重要である、また若い看護職員の力が必要であると感じました。ポリナビは若手主体で行っているのが気軽に参加し、連盟に対する理解と協力が得られればよいと思います。  
(大分北部地区支部 伊藤陽介)

今回、熊本県のポリナビに参加する機会を頂き運営する立場でなく客観的に参加することが出来ました。それにより改めて連盟の意味、方針を再確認でき、自己の連盟若手委員としての立場がどれほど大切な役割なのかも再認識することが出来ました。特に各施設で起こる看護問題において一つの施設で対応しても何も変わらない。看護全体の意見としてまとめ政治問題として取り上げることがまず一歩であり、政治的に改善しなければ私たちのより良い看護業務スタイルは望めません。政治的に対応するためにはその先駆者が必要であり応援者も必要です。更に良い看護を目指して若手委員として努めていきたいと思ひます。  
(大分北部地区支部 曾我知紀)

私は今年度より若手委員の一員として活動し始め、「ポリナビ」というものを漠然としか理解していませんでした。  
今回参加して、私たちの働く環境に対する悩みは共通しており、看護をよりよいものにするためには、政治・政策を通して私たちの手で未来を変えていくことが必要なのだ、楽しみながら強く感じ、考えることができました。この研修での学びを今後の連盟活動に活かしていきたいと思ひます。  
(大分北部第2地区支部 安田真弓)

連盟の運営や活動もわからないままに、役員となり8ヶ月となりました。今回、この熊本で開催されたポリナビに初めて参加させていただき、改めて医療・看護を行うためには、政治がいかに重要であるか、高階恵美子先生や小泉進次郎先生の講演、話し合いを通し学ぶことができました。医療・看護がより良いものになることを目指すため、自分たち看護師は現場の声を伝えなければなりません。  
ポリナビに多くの若い方たちに参加していただけたらと思ひます。  
(竹田・豊後大野地区支部 久保田里美)

# 第2回 ポリナビワークショップ in おおいた なでしこDREAMサムライ魂 ★今 私たちにできること できないこと★

日時：平成24年3月11日(日)12:45~16:30  
会場：大分県看護研修会館(3F)「大研修室」  
《参加対象》20~30代看護職員及び看護学生 《参加費》無 料



◆あべ俊子衆議院議員拡大活動報告◆ 平成23年10月18日(火)~20日(木) 岡山県和気町



安東会長



加藤幹事長

「あべ俊子衆議院議員拡大活動に参加して」 幹事長 加藤富美子

10月とは思えない暑さの中、10月18日から20日の3日間岡山県第3選挙区東備地区（和気町（わけまち））に出かけました。

和気町は、大分から約4時間半かかり、岡山からJRで30分の周囲が山に囲まれた地域でした。道路が狭く、車1台がやっと通る箇所や山を削って家を建てている新興住宅地でした。あべ俊子事務所の秘書川崎さんから活動についての説明があり、18日午後と19日の午前には佐賀県看護連盟の方と一緒に活動になりました。あべ俊子先生の「国政活動報告書」を会長と二人でゼンリンの地図を片手にチェックしながら配布しました。新興住宅街の集落は、チャイムを鳴らしても留守宅が多く、地元の方は一応受け取ってくれるが、関係がないと断わる人もいました。あべ俊子先生の支援者宅に、秘書と伺ったときは、今回の選挙の厳しさと平沼議員の根強さを知りました。3日間で、直接手渡しやポスティングした戸数は212件でした。

全国47都道府県の連盟から約半数の連盟が拡大活動に参加するとのことでした。この活動が実を結ぶように連盟活動をしていきたいと意を強くしました。



佐賀県看護連盟の役員と一緒に

◆参議院議員 たかがい恵美子先生活動報告◆

参議院本会議で代表質問 平成23年11月2日（水）

参議院本会議で所信表明演説、財政演説に関し、野田佳彦総理大臣ならびに関係大臣に代表質問。野田総理の基本的な政治姿勢、野田内閣の人口政策ならびに復興政策について社会保障を中心に約20分にわたり質問。

11月2日、野田内閣総理大臣の所信表明演説等に対する代表質問に立ち、総理の政治姿勢を問いただすとともに、人口政策、復興政策の課題に関して、現政権にしっかりと認識頂き、遅きに失することなく取組みを進めてほしいとの思いを込めて、質問しました。

【総理の政治姿勢】

東日本大震災は、国民に深い傷を与え、社会に説明しがたい動揺と変化をもたらしていると考えられます。自殺、児童虐待など、命の危機を受け止めるとともに、どのような方針で臨むのか質問しました。

【人口政策】

わが国の総人口は今後7割程度まで減少し、中でも生産年齢の減少がすすむということを念頭に置いた、新たな“成熟社会づくり”を、今この時期に押し進めなければなりません。総理が人口問題をどう捉え、どう対応するのか表明するよう求めました。

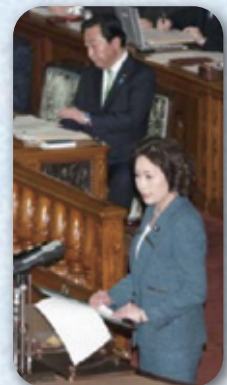
その上で、地域の子育て拠点の強化・拡充、母体の保護と女性の健康づくり、出産を巡る環境改善、最期まで穏やかに過ごせる環境整備の必要性を提起し、ライフステージを通じた必要な施策の取組みへの決意を求めました。

また、7月に政府において「税と社会保障の一体改革案」がとりまとめられましたが、増税の議論が先行していることについて、まずは新たな社会保障体系の具体像を示すべきであると問いました。

【復興政策】

現政権の復興政策が遅すぎ、未だに被災者の生活再建の見通しが立っていないことは憂慮すべき事態です。復興予算を早期に執行し、実効性の高い施策を実現すべきです。第3次補正予算の年度内執行を確約するよう求めました。

また、復興庁及び被災自治体の職員の確保の見通し及びその対策について、被災地の小規模事業の支援について、社会保障の担い手の確保とその労働環境の改善に対する方針について質問しました。



# 研修会等のお知らせ

## 会員研修会

日 時:平成24年3月6日(火) 13:00~15:30  
 会 場:大分県看護研修会館(3F)「大研修室」  
 講 演:「コーチングの基礎と看護現場での事例」  
 講 師:坪田 康佑先生  
 対 象:連盟会員  
 参加費:無 料



### 【講師紹介】

#### 経歴

慶應義塾大学看護医療学部2005年卒。米国NY州Canisius College MBA Program修了。専門学校にて、担任・教師として勤務。プレゼンテーション技法・機能解剖学等の授業を担当しながら、担任として生徒の進路相談等に関わる。その後、医療系ベンチャー企業に転職、医療従事者向けセミナーや医療従事者をプロデュースする企画や運営、学会・研究会のコンサルティング等に関わる。米国MBA留学後、コーチ・エイ入社。

#### 実績

医療従事者向けプログラム「メディカル・コーチ・トレーニング・プログラム(MCTP)」の開発・運営・広報・効果研究など全体に関わり、コーチ資格を持つ医療従事者の方々への活用事例インタビューやコーチングに関する論文収集など、医療とコーチングの可能性を広げる活動に力を入れている。コーチとしては、医師・ナースプラクティショナー(米国)・看護師など医療従事者へのメディカルコーチングのほか、医療系ベンチャー企業経営者・訪問看護ステーション経営者・職能団体役員・研究者の方など、医療に関わる方全般を得意とする。

資格 看護師・保健師・養護教諭2種

## 第2回 ポリナビワークショップinおおいた

日 時:平成24年3月11日(日) 12:45~16:30  
 会 場:大分県看護研修会館(3F)「大研修室」  
 講 演:[第1部] 特別講演「看護と政治力」  
 講師:日本看護連盟幹事長 石田昌宏  
 [第2部]「災害支援について」  
 講師:大分県看護協会常務理事 藤垣則子  
 講師:大分赤十字病院 林加奈子  
 [第3部]「グループワーク」  
 対 象:20~30代看護職者及び看護学生  
 参加費:無 料  
 主 催:大分県看護連盟若手会員委員会

## 支部研修会 (OB会員研修会)

日 時:平成24年3月15日(木) 10:00~13:00  
 会 場:大分県看護研修会館(2F)「第1研修室」  
 講 演:検討中  
 講 師:検討中  
 対 象:OB会員  
 参加費:無 料  
 主 催:大分県看護連盟OB会支部

平成24年度連盟会員を募集しています!! 平成24年度  
会員目標 **3,500名**

ベッドサイドから  
政治を変える!



連盟会費 年間7,500円

日本看護連盟  
会費5,000円

+

大分県看護連盟  
会費2,500円

=

年会費  
7,500円

### 特典

- ◆連盟主催の研修会に無料で参加できます。
- ◆機関紙「アンフィニ」の配布(年3回)や情報の配信
- ◆「れんめい大分」の配布

- ◆賛助会員 1,000円
- ◆学生会員 無料

★詳しくはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】大分県看護連盟

〒870-0855 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館

TEL(097)574-7088 FAX(097)574-7517

e-mail : oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

確かなものを、贈りたい。  
Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品の  
ハム・ソーセージの  
詰合せをどうぞ。

丸大食品株式会社  
九州特販営業課

福岡県糟屋郡粕屋町大字内橋673-8

TEL 092-621-2121 FAX 092-621-2122



編集後記



明けましておめでとうございます。  
「れんめい大分」を編集しているメンバーです。「れんめい大分」を通して、連盟の“熱い思い”を伝えていきます。どうぞよろしく願い致します。

広報委員一同

